

(お 知 ら せ)
(市 政 ・ 大 学 同 時)

平 成 2 2 年 1 0 月 2 8 日

京 都 市 立 芸 術 大 学
(担 当 事 務 局 総 務 課 334-2200)

芸 術 大 学 長 予 定 者 の 選 出 に つ い て

京都市立芸術大学では、学長死去に伴い、平成22年10月28日の評議会において、下記の者を学長予定者に選出しましたのでお知らせします。

なお、評議会では学長予定者を選出するため、選挙資格を有する者による学長候補者の選挙を実施しています。

今後、市長への内申を経て、任命されることとなります。

記

たてはた あきら
建 畠 哲 (年齢63歳)

(略歴) 別紙のとおり

(参考)

評議会...京都市立芸術大学の最高議決機関であり、学長、部局長及び美術学部・音楽学部・日本伝統音楽研究センターの教授会が選出する教授で構成。

選挙資格を有する者...選挙通知の日に現に本学の学長、部局長及び専任の教員の職にある者。

学長候補者(被選挙資格者)...本学の学長、部局長、教授及び評議会が認めた場合、本学以外の者。

建畠 哲 昭和 22 年 8 月 1 日生れ 63 歳

【学歴】

昭和 47 年 早稲田大学文学部仏文学科卒

【職歴】(概要)

昭和 47 年～昭和 52 年 新潮社「芸術新潮」編集部勤務
昭和 52 年～平成 3 年 国立国際美術館研究員・主任研究員
平成 2 年～平成 3 年 京都市立芸術大学非常勤講師
平成 3 年～平成 17 年 多摩美術大学美術学部芸術学科助教授・教授
平成 5 年～平成 14 年 東京大学非常勤講師
平成 14 年～平成 15 年 コロンビア大学(米) Visiting Scholar
平成 17 年～現在 国立国際美術館館長, 独立行政法人国立美術館理事
平成 17 年～現在 多摩美術大学美術学部芸術学科客員教授
平成 20 年～平成 22 年 東京藝術大学客員教授
平成 2 年, 平成 5 年 ヴェネチアビエンナーレ日本館コミッショナー
平成 13 年 横浜トリエンナーレ 2001,
アーティストック・ディレクター(4 名体制)
平成 14 年 釜山ビエンナーレ・エキジビション・ディレクティ
ング・チーム(4 名体制)
平成 22 年 あいちトリエンナーレ 2010 芸術監督

【所属学会及び主な役職等】

外務省独立行政法人評価委員会 国際交流基金分科会長, セゾン現代美術館理事,
大阪市立東洋陶磁美術館理事, 美術評論家連盟常任委員, 全国美術館会議理事,
日本文芸家協会会員, 日本ペンクラブ会員, ワコール文化財団評議員, 美術史
学会会員, 表象文化論学会会員

【主な業績】

<主な著書>

『西洋の美術 新しい視座から』(共著) 1989 年, 昭和堂
『モダンアートの百年 騒々しい静物たち』(共著) 1993 年, 新潮社
『日本の美学』(共著) 1993 年, 勁草書房
美術評論集『問いなき回答』1998 年, 五柳書院
『現代アート入門』(編著) 1998 年, 平凡社
美術評論集『未完の過去』2000 年, 五柳書院
『表象のディスクール』(共著) 2000 年, 東京大学出版会

エッセイ集『ダブリンの緑』2005年，五柳書院

詩集『余白のランナー』1991年，思潮社，第2回歷程新鋭賞受賞

詩集『そのハミングをしも』1993年，思潮社

詩集『パトリック世紀』1996年，思潮社

Collected Poems by English, *Runners in the Margins*,

2003, P.S.A Press: Middletown, Springs, Vermont, USA

詩集『零度の犬』2004年，書肆山田，第35回高見順賞受賞

< 受賞歴 >

1991年 第2回歷程新鋭賞 【詩集『余白のランナー』】

2005年 第35回高見順賞 【詩集『零度の犬』】

2010年 オーストラリア政府名誉勲章受章



京都市立芸術大学
学長予定者 建畠 哲